

平成 23 年 11 月 12 日

東京フォーラム

於：湯島聖堂

中斎塾 東京フォーラム

平成 23 年 第 9 回講話

先程、素読をして下さった方が、いくつか読み間違えたと言われましたが、これは人間ですから間違いはあります。ただ間違いに気付くかどうかで進歩の度合が違って来ます。気が付いても堂々としていると、自分の方が間違っているのかと錯覚してしまいます。周りも考えますし真剣になりますから、たまに間違えるのは良い事です。

一つ進めると、学者の中でも論語の読み方は色々あります。新しい学説を立て、読み方が変わり、解釈もガラリと変わります。そういう事は良くあります。

私は意図的に間違える事があります。そうすると誰かが「テキストと違う」と指摘をしてくれますが、その時は仕掛けをしたなと考えて下さい。

余分な話ですが、昔は辞書で調べて自分で考えていました。今の時代ではパソコンです。インターネットは親切に書いてありますが、今ひとつ信用できません。パソコンで調べたものは、自分で原典などにあたって良く調べて確認を取った方が良いです。文書を書く時には孫引きをしない方が良いでしょう。

私自身で云いますと、今、来年の干支の話を書かなくてはいけないので色々調べています。六十年前はどうであったかとインターネットではすぐ出ますが、そのまま引用する訳にはいきません。インターネットだと原典が良く分からず浅い知識のものが多くて怖いです。調べるには自分の足で国会図書館に出掛けて行き、マイクロフィルムをグルグル回し、自分の目で見て確認をする。だいたい調べたいものは一日掛かりで調べられます。自分の身体を動かした分だけ血肉になります。あまり便利過ぎるのも善し悪しだなと思います。

恒例の質問

昨日一日、嘘を付かなかったか？

...嘘をつくというのは自分にとって都合の良い事を言おうとすることが多いので、ちょっとリップサービスをと思っても、自分の中で嘘だと思えば段々口が重くなり翌日に響きますから、なるべく嘘を吐かない方が良いです。ただ、世の中の為になるような嘘でしたら、これは良いと思っています。

昨日一日、良い日だったか？

...私は体に負荷をかけすぎていると持病が出るようで、例えば仕事をし過ぎる、余計な事をやり過ぎる、物事を考え過ぎる、その様な時で睡眠不足の時に持病が出ます。体にとって良くない事を積み重ねると、休めという命令が体に出る様です。最近持病が出ましたら、休めと云う信号だと思って有り難く休む事にしています。

昨日有難うと云い、有難うと云われましたか？

健康法を実践されている方？

...40歳前後ですとあまり気になりませんが、50歳の坂を超えると健康法が役に立つよう
ですので、50代半ばを過ぎてから健康法を実践されるのは良いでしょう。

明日の事を昨夜、寝る前に明日は良い日だったと過去形で考えた人？

...これは色々な資料や本などで調べると出てきます。西洋文明で、明日の成功体験を先
に想像しておくことが出来る人は、人生において成功するでしょうと紹介しています。明日
を過去形で考える能力、または周りに自分より素晴らしい人・優秀な人が沢山おり、自
分の周囲はお師匠さんだらけだと...この実感が大きければ、大きいほど、明日が良かった
というイメージが強烈に思えば思える人ほど、素晴らしい人生を送れるものと感じます。

ふと思った事が胸に残りそれが段々大きくなって芽を出し大きくなって、ハッと気が付
いたら花は咲き実がなり大木になっている。洋の東西関係なく、このような考え方は根っ
この所では同じだと思います。

今回は貝原益軒の本を二冊ご紹介致します。私が氣にいった言葉は腹五分です。

腹十分というのは、古代中国の貴族の中で、もっと食べたいと欲求が強過ぎた場合吐き
ながら食べていたそうです。腹九分は、少々食べ過ぎたかなと思う人。腹八分は満足した
けれど、もう少し食べたいと思う。腹七分は、もう少し食べたいなと思う人です。普通は
これ位が良いです。腹六分は、少なすぎるし我慢出来ないが、医者から食事制限を言われ
ているので止めておこうと意志の力で止める。腹五分は、食べたか食べないか分からない
ぐらいで、空腹感が心地よいと思える人です。ただ注意しなければならないのは、私の知
り合いにトライアスロンに出場するぐらい体力に自信のある人が、短期間で食事だけをコ
ントロールして体重を十キロぐらい落とすのに成功しました。でもハッと気が付いたら足
の筋肉がなくなり、腰が痛くなったそうです。このままではいけないと思い食事を戻して
も筋肉は戻らず、また腰にきてしまったそうです。ダイエットをしたばかりに腰に負担が
きてしまい大変な思いをしてしまったそうです。私は同じ轍を踏まないように、食事療法
と八千歩を毎日歩くようにしています。

貝原益軒の養生の術は「我慢」、「忍耐」、「忍ぶ」というのがキーワードです。我慢と云
う言葉の先は「ほどほど」にしておこうというのが出てくるかと思います。貝原益軒の考
え方「ほどほど」は、中斎塾の基本哲学「知足」と同じではないでしょうか。

論語 子罕 第九

【一】子 罕に利を言う。命と与にし、仁と与にす。

孔子は利益のことについて言わないけれど、たまに珍しく利について言います。それは
運命や仁徳の時の話をする時に利も一緒に言います。それ以外で利については言いません。

渋沢栄一が「利に放りて行えば怨み多し」を人生の判断基準にしたいと公言し、守って

いました。そして三島中州の「義と利は和の合一説」の考えに賛同していました。義と利は和に合一するという説です。利益だけを考えるのではなく、義を追及していくと最終的には利と一致するという事です。渋沢栄一は、そろばん（利益）と論語（道徳）は一致しなければならないと考え、「義と利は合一の説」の小冊子を持って周りの人に配り、世間に広めようと努力をしていました。

【二】達巷党の人曰く、大なるかな孔子、博く学びて名を成す所無しと。子之を聞き、門弟子に謂いて曰く、吾何を執らんか、御を執らんか、射を執らんか。吾は御を執らんと。

達巷は地名で部落です。達巷党の人は、孔子は多方面の学問をしていて専門分野が非常に多いにもかかわらず、世の中に名を出していない。有名になりたいと思っていないから名前が世の中に出ないように努力をしているのは素晴らしいことだと言ったのを孔子が聞いて、門弟の人達と珍しく冗談を言っています。私が有名になるとしたら何で有名になるか、御者が良いか、弓を射る人が良いか、私は御者が良いと思う。趣味の世界で有名になるのも良いねと。

私は自分自身の事で置き換えて考えてみました。私が論語を講釈させて戴くのは、私の師匠が還暦を過ぎたら世の中に恩返しをなさいと言っておられ、私も世の中にお返しをと思い実践を致しました。それで私は今まで習ってきた論語を御披露し、知足に繋げてゆくことは社会還元だと思い中斎塾をつくりました。趣味の世界ではあと妖怪変化の小説を書きたいと思っています。

【三】子曰く、麻冕は礼なり。今や純なるは儉なり。吾は衆に従わん。下に拝するは、礼なり。今上に拝するは泰なり。衆に違ふと雖も、吾は下に従わん。

麻冕は丁寧に麻で作った手数はかかるが古礼にのっとった冠です。純は絹です。

今の大家は絹で作った冠をつかうのは儉約の為で、私もそれに従おうと思う。礼は古式にのっとって御殿の下で礼をします。今、大家は御殿の上で礼をするが、それは奢っているので私はそのやり方はしません。大家に迎合はしないと断言しています。

現代で置き換えれば、マスコミ等で大家に迎合する評論家はいかなるものかと捉えられます。評論家の言い方も気が付くと一年前と今日では違う事があります。大きい事件があった時に色々な言葉で大家に迎合するのは嬉しくはない、孔子はそのような取り方はしなかったという風にお考え戴いて、御自分で主張する時は一貫してぶれない方が良いです。

【四】子四つを絶つ。意毋く、必毋く、固毋く、我毋し。

孔子は私欲をしない、無理押しをしない、固執をしない、我を張らない、この四つのごとは絶対しませんでした。すべて程々にいきましょうという事です。

毋（な）くという文字は、似た文字が三つあります。毋（な）くは、勿（なか）れとい

う意味です。似た字は、母（かん）でして、一貫・二貫の母です。あとは母（ぼ）です。この母（はは）と云う字の点は繋げないで下さい。点は乳房を表します。点を繋げますと乳房が一つになってしまいます。本来の字は乳房が強調されていたので、意識して点は二つ入れて下さい。

【五】子 匡に畏す。曰く、文王 既に没したれども、文 茲に在らずや。天の將に斯の文を喪さんとするや、後死の者 斯の文に与ることを得ざるなり。天の未だ斯の文を喪さざるや、匡人其れ予を如何にせんと。

孔子が匡という国に行った時、匡の人々が陽虎と間違えて襲って来ました。孔子は父親譲りの大柄な体格で力も強かったそうです。匡の人々が襲ってきて、弟子達が慌て恐れた時に孔子は弟子達に「天は周の文王がつくった礼楽制度（文化）を滅ぼすことはないだろう。（後死の者は孔子・自分自身の事です。孔子の自信が言わせた科白です）それなら、私が身につけている礼楽（文化）を世の中や人の為に広めているのだから、天が私を滅ぼす事はないので、ここで死ぬわけがない。匡の人達は私に何かしたくても出来ない」と言いました。

それだけのことを現代の人は言えるでしょうか。自分が危難に遭った時「私はここで死ぬわけがない。何故なら...」と言えるぐらいの事をやり続けていれば、大丈夫でしょうとお考え下さい。

【六】大宰 子貢に問いて曰く、夫子は聖者か。何ぞ其れ多能なるやと。子貢曰く、固より天 之を縦す。將ど聖にして、又 多能なりと。子 之を聞きて曰く、大宰 我を知るか。吾 少きとき賤し。故に鄙事に多能なり。君子は多ならんや。多ならざるなりと。牢曰く、子云う、吾 試いられず。故に藝ありと。

大宰は呉の国か宗の国か分かりませんが、大国の総理の職にある人が、弟子の子貢に「孔子は聖人ですか、それにしても何でもお出来になるのでは？」と聞かれました。この当時の常識では、立派な人物は多芸多能ではないという考えが根底にあります。子貢は能力もあり雄弁でしたが、その質問には「孔子が多芸なのは天が許しているからで、先生はもとより聖人であり、細かな事、雑事にも素晴らしい力を発揮しているのです」と苦しい答えをしました。それを孔子が聞いて、大宰は私の事を知っているのだろうか、私が若い時、身分が低く何でも手を出さなければ食べていけなかったもので、つまらない仕事に通じる事が出来たのだと。弟子の牢（子開）が、孔先生に次のように言われたと解説をしました。先生は「若い時、世の中に用いられなかったもので、つまらない事を覚えて多芸になったのです」と答えました。色々なものが出来るのは浅く広くなってしまうからあまり良くなく、出来るだけ深いものを掘り下げる。

私は詳しいものが一つだとちょっと足りないと思いますので、専門分野をお持ちになる時には二つあると良いと思います。専門分野が二つあると相通じると思いますので、御自

分で自分自身の能力を考え得意分野が二つあると良いとお考え下さい。

本質・大局・歴史の観点

読売新聞の10月10日の記事に、若い人達にお茶の話をしたら、今では家に急須がなく、ペットボトルのお茶が普通であり常識だと書いてありました。

昔、伊東園の副社長の話を聞いた事があるのですが、日本人の食生活が和食から特に肉食への変化に伴い、そのような食事に最適なお茶を中国で見つけたウーロン茶で、日本中に広めようと思ったそうですが、自分達の力だけで広めるには資金不足でなかなか上手くいかなかったので、他の飲料メーカーを説得して歩いたそうです。たまたま当時の人気アイドル（ピンクレディー）が宣伝してくれて、他メーカーのウーロン茶が売れたので日本全国に広がり、それに追随したと云う事です。結果として缶やペットボトルのお茶が広まりました。広がった最大の理由は、色々な会社がこの先どういう飲み物が良いかと調べていましたけれど、伊藤園が一步リードしていたのだと思いました。

今では、お茶は急須から入れるものではなくペットボトルのお茶が常識になったものだなと感じました。

新聞を見る時に民主党の不様な手を見る、自然災害について見る、国債の動向を注意しましょうと何度も申し上げておりますが、民主党・自然災害・国債は、このお茶の話にはあてはまりません。ただ本質・大局・歴史の観点から見ると、お茶の概念が変わってきたなと思います。日本人はお茶で侘びさびを感じていましたし、歴史的背景を感じていました。蒋介石だったと思うのですが、日本人のお茶の道具は粗末で寂しいと云うイメージでみていたと新聞にありました。歴史の流れを見ることによって新聞記事の本質や大局が見えて来ます。一つの判断をする時には本質・大局・歴史を自然とみるような訓練を自分自身でされると良いと思います。

TPP（環太平洋経済連携協力）は関税をなくしましょうと考えれば良いと思います。野田さんが TPP を進めると、玉虫色で関税の話をしているなと感じます。発言要旨を新聞で読んでいますと、菅さんと同じ手法だと思いました。菅さんの場合は退陣の話をしたとも取られるような言い方をした時です。でも野田さんは一枚上手です。一つの言葉をクロでもあり、シロでもあり、グレーでもあり、どれをとっても良いという表現をしたから、どじょう狸だと感じました。野田さんの TPP に関しては、かなり言葉を上手に使い一所懸命に考えて文章を読んでいます。でも顔の表情は良くないです。これからはどんどん落ち込んで来るだろうと思います。

政府や官僚の動きで、世論から原発の安全委員会を解散させないといけないと明確に出ていますが、それに対して来春に安全庁なるものをつくると政府は発表しています。ただ詭弁だと思うのは廃止や閉鎖と言うけれども、人数で見ると安全委員会は百人ぐらい、保安委員は四百人ぐらいまだ現時点でいます。原子力安全庁は横滑りで人数は減らないで、

看板だけを変えるだけです。

日本政府は官僚の数を減らし人件費を減らすと云いますが、氣をつけてみていかないと政府が痛みを伴うものは、民主党は進めていません。何かを廃止や閉鎖をすれば、何かを誤魔化しているのだろうか、どこに論点をすり替えているのかを考えてみると良いと思います。

野田さんを見て、朝霞公務員宿舎の事業を止めたと言ったり、やりませとも言ったりするのは根拠がありまして、日本の国のお金を動かすため推進が良いと思って確信犯的にやっています。ただマスコミが騒ぎだしたので、引っ込めて中止とは言わず凍結と話しました。常に大衆迎合型で言葉を変えて中身を変えないのは、民主党は上手です。民主党の不様な手というのは、言葉を変えて中身は変えず言葉をすり替えて押し通してしまう。

一番肝心なのは、あの人の言う事は間違いなから信用してついて行こうと信頼感を作るのが政治家の政治家たる所以であろうと思うのですが、言葉の誤魔化して政治を行うのは、民主党の不様な手に直結していると感じます。

一つのテーマがあったら新聞等で長く追って見るのが良いでしょう。そのテーマが過去の発言と照らし合わせて、ぶれているかどうかを見る。

テーマを選ぶとして TPP は、しばらくしたら消えてしまうと私は思いますので、身近で生活に影響があり、長く追えるものとして税金、消費税は分かりやすいですし良いと思います。ハッと気が付いたらとんでもない税金が来ます。私の母親は 95 歳になるのですが、親の年金の中に介護保険税が天引きで取られています。95 歳の老人からどうして他の人の介護保険のお金が取られるのか首をかしげたくになります。

山田方谷の理財論の中に「過酷な税金を国民にかける国家は必ず滅びる」と名言があります。今日本は過酷な税金、過酷な負担を国民にかけ続けていますし、さらに負担を増やそうとしています。これでは日本は滅びに向かっていると思わざるを得ません。国外にある経済界は脱出する方向に向かっています。これは怖い事だと感じます。新聞マスコミの動きをみて、国民に対してどういうものを強いるのかという視点で長く見てゆくと良いでしょう。

御自分で何か一つテーマを決めて、来年からそのテーマを一年追ってゆくと良いでしょう。新聞を一ヶ月分の中の日で良いですから一つ残してみると良いです。それを一年分追いかけて師走の時に見て見る。ちょうど今年も終わりに近いですから、来年から実行されると良いでしょう。そうすると、自分自身の考え方が、けっこう新聞等に影響されるとどこかで感じられるかと思います。御自分の判断基準は何か、マスコミの言っている事のぶれはどうかと考え一年を締めくくられると良いでしょう。そうしますと来年の対応がまた変わってきます。

次回は来年の干支、壬辰（じんしん・みずのえたつ）の話をします。

来年は悪くなります。悪くなる話ばかりも良くないですから、良くなるのは 4 年後から

です。4年後を踏まえて、来年が悪くなるのはどの程度までか分析するのも良いと思います。